



# 高小だより

令和4（2022）年7月



## 1学期、ありがとうございました。明日から夏休みです。

今年度は、コロナ禍の中にあっても、昨年度より子どもたちの学びを一步でも前進できるようにと、感染症対応も行いながら、1学期の教育活動を進めてまいりました。保護者の皆様、地域の方をはじめ、たくさんの方にお世話になりながら、子どもたちはこれまでより、様々な体験や活動をすることが出来ました。お家の方におかれましては、こうした学校活動全般に、ご理解ご協力ご支援いただき、本当にありがとうございました。

1学期に市内の中学生が亡くなるという痛ましい交通事故がありました。自転車でヘルメットを着用し、青信号の横断歩道を渡ろうとしたところ、左折してきたトラックに巻き込まれたとのことです。夏休みを前にして、わたしたち教職員は、この事故から、高小の子どもたちが交通事故に巻き込まれないために、どのようなことを伝えていけばいいのかを考えました。昨年までは以前行っていた交通安全教室をコロナウイルス感染防止のため、休止していましたが、7月6日に交通安全教育に携わってみえる地域の方にお越しいただき、2年生から6年生の子どもたちに交通安全教室を実施しました。高茶屋地区の子どもたちが実際に通る道の動画や写真を使って、危険なところや気をつけることを教えていただきました。また、1年生は、7月12日に体育館で、津市交通教育プロバイダの方とPTA交通安全指導部の方にお世話になり、交通安全教室を行いました。子どもたちには、交通ルールを守るだけでなく、自分で自分の身を守る力をつけていかなければなりません。そのためには、「車がこちらに来るかもしれない」「通れると思って、前の人はいきなり横に動くかもしれない。」というように危険を想像できるようになってほしいと思います。また、子どもたちは交通安全について、頭では分かっているけど、習慣として定着するまで時間がかかるものだと思います。だからこそ、まわりの大人が繰り返し違ったアプローチで子どもたちに交通安全を訴え続けて何度も考えさせる必要があると思います。子どもたちを交通事故から守るため、学校だけでなく、お家でも繰り返しお声掛けをお願いします。健康で有意義な夏休みとなり、2学期には全員が元気に登校できるようお願いします。



